

演出家・ユネスコ無形文化遺産(ICH)代表リスト選考員
フランチェスコ・ベッロツト氏に聞く

ユネスコ無形文化遺産に登録された イタリアの伝統的オペラ歌唱法”Bel Canto” ～その真価と特徴について～

2024年4月15日(月)に実施したフランチェスコ・ベッロツト氏による特別講座のアーカイブ配信です
2023年12月にICHへ登録されたイタリアの伝統的オペラ歌唱法「ベル・カント」

その選定に至るまでの道のり、「ベル・カント」のどのような特異性が評価されたのか
実際にイタリア語が歌唱においてどのように優れているのか等
オペラの現場に携わる方々やオペラ・ファンの皆さまにも是非ご覧いただきたい内容です

配信
期間

2024年5月1日(水)
～5月31日(金)
※期間中は繰り返し視聴可能

視聴料金

1,500円

ご購入



[https://teket.jp/
2148/32840](https://teket.jp/2148/32840)



フランチェスコ・ベッロツト Francesco Bellotto

1961年イヴレーア出身。ベルガモに移り住み、主要な演出家と数々の舞台を制作。2000年から本格的に演出家として多くのドニゼッティ作品を手掛け、イタリア内外の主要劇場にて定期的に公演されている。2004～2015年、ドニゼッティ劇場の芸術監督に就任。06年、ベルガモにてドニゼッティ・フェスティバルを創設。同音楽祭で50作品・約150公演を越えるオペラの他様々なジャンルの公演を企画・監修している。音楽祭の実施によりドニゼッティ劇場は国際的に注目を浴びることとなり、「ルクレツィア・ボルジア」「ロベルト・デヴリュー」はDVD化もされた。

学術的な分野では、18-19世紀イタリア・オペラ演出法に関する研究者として、朗唱と舞台表現の関係について大きな成果をあげた。また、ドニゼッティのオペラ作品イタリア国内版及び批判校訂版作成などにて、著名な研究者らと監修に携わる。その他、音楽専門誌、論文集などに記事やエッセイを掲載し、権威ある研究論文全集の監修も手掛けている。音楽院や大学にて後進の育成にも精力的に取り組んでおり、スカラ座、ケンブリッジ大学、フェニーチェ劇場など、国内外で講演会、報告会、講座や研究会を開催。2007～2009年には、ベルガモのソチャーレ劇場とドニゼッティ生家の改修と再開に芸術顧問として携わる等、多岐に渡り活動をしている。

藤原歌劇団には、2016年「ドン・パスクワレ」の演出を手掛け、2018年「ラ・チェネレントラ」ニュープロダクションで再来日。今回は再演となる。ジャパン・オペラ・フェスティバル2023 法隆寺公演 野外オペラ「トロヴァトーレ〈吟遊詩人〉」～炎の復讐劇～の演出を手掛けた。

司会：高橋 和恵／通訳：井内 美香

〈主催〉公益財団法人日本オペラ振興会 オペラ歌手育成部
044-819-5505(平日10時～18時)